

イスラム教を知り

キリスト教の歴史と現在を考える

お話し：板垣 雄三さん

中東・イスラム研究者 東京大学名誉教授 日本キリスト教団埼玉和光教会

中東・アフリカの混乱は激しさを増し、ISなどイスラム過激派の台頭、そしてパレスチナでは悲劇が繰り返されています。

その原因がキリスト教・ユダヤ教・そしてキリスト教という源を同じくする宗教間の対立にあるという見方もあります。

歴史的には十字軍などイスラム教諸国との戦争、ユダヤ人迫害とイスラエル建国に起因するパレスチナ、最近ではアメリカでのキリスト教保守原理主義など、様々な負の側面があることも事実です。

日本が、戦争法案によりアメリカの戦争に加担しようとする今、キリスト者としてイスラム教を再確認し、ともに平和のために働く道を模索していきたいと思います。



参考図書：「対テロ戦争」とイスラム世界（岩波新書）
イスラーム誤認 衝突から対話へ（岩波書店）

1月9日（土）14：00～16：00

東京教区会館 3階 港区芝公園 3-6-18

講演会后、東京教区正義と平和協議会が行われます。

問い合わせ先 東京教区正義と平和協議会議長
(井口司祭：090-1265-5901)